

【第 98 回対策本部会議】 8 月 26 日

知事／改めて、医療従事者、さまざまな現場の皆様、感染症対策に取り組む県民の皆様から感謝する。

26 日の感染者は 103 人、うち感染経路不明の新規感染者は 32 人。感染者数最多を出したところは、陽性者の半分くらいが新規だったが、現在は約 3 割に減少。接触者を追っているところの割合が増えてきた。また、24 日の PCR 検査は、保健所の尽力で過去最大の 1,412 件を検査できた。感染を閉じ込めるよう、努力し続ける。

病床使用率は、57.8%。ホテル使用率は 54.5%。重症者は 3 人、自宅療養者は 592 人。

直近 1 週間の人口 10 万人あたりの感染者数

佐賀県は、101.35 人で全国 16 番目。18 日に佐賀県全域に「医療環境を守るための非常警戒措置」を出し、飲食店の時短を要請した。その効果が出始め、グラフは下降に転じている。

過去に同じ措置を 2 回発出した。第 4 波の際、この数値が全国で 9 番目まで高くなったが、5 月 7 日に措置を発出後、感染者が減っていった。今回もその兆候は見えているが、さらに減っていくよう県民の皆さんと努力していきたい。

県内保健所管内ごとの新規感染者数の推移（人口 10 万人当たり直近 1 週間 1 日当たり）

唐津管内の感染が止まらない。非常に強い危機感を持っている。旧唐津市は 41.8 人、東京都の 32.1 人を超えている。佐賀市は 14.2 人、佐賀県全体では 14.5 人。

旧唐津市が、これ以上悪くなる場合に備えるため、また唐津市の皆さんに強く意識してもらうためにも、国と協議して、旧唐津市をまん延防止等重点措置エリアの適用地域とした。

コロナで重症化した人の命を救うため、また、県民が救急医療や通常の診療を受けられるよう、現在の「医療環境を守るための非常警戒措置」に加えて、「まん延防止等重点措置」を導入することを理解してほしい。

「まん延防止等重点措置」の対象は旧唐津市。27 日から 9 月 12 日まで。日中を含めた不要不急の外出と移動の自粛をお願いする。飲食店の酒類の提供は自粛。営業は 20 時まで。ショッピングセンター、家電量販店、パチンコ店、ボウリング場などの大規模集客施設も、20 時までの営業を要請する。

全県域で、飲食店の営業時間短縮（21 時まで）を、12 日まで延長とする。県全体で、危機を打開したい。

2 回接種者の感染は、著しく少ない（感染者の 6%）

ワクチンを2回接種して、2週間経過した人が感染したケースは、直近の感染者2,000人の6%にとどまっている。接種できる人は、まん延を防ぐために、できる限り受けてほしい。

5月の第4波に比べて、40代以下の感染者の割合が大幅に増加している。それに伴い、若い世代の家族の感染が増えている。第4波では、70代以上が多かったが、8月は4%。ワクチン接種の影響が大きい。

プロジェクトM 医療提供体制の強化をこれからも進めていきます!

- ① 中等症、軽症者の専用病床を9月初旬までに50床増床
- ② 軽症者のため、複数の臨時の医療施設を準備中
これにより、できる限り自宅療養を減らしたい。
- ③ さらに増床、宿泊療養施設のホテルも現在調整中

コロナ対策は、行政と県民の皆さんが、一緒になって取り組むべきもの。行政は、県民の命を守るための施設準備を進めていく。ただ、そこに入る数を抑えるのは、県民全体の努力。

施設が稼働できるよう、医師、看護師、スタッフの準備を進めている。行政と県民が共に最善を尽くし、総力をもって闘っていきたい。

旧唐津市(まん延防止適用地域)の皆さまへ

特に、旧唐津市民の皆さんにお伝えしたい。本来は、旧唐津市という言い方をしたくなかった。しかし、疫学的な調査と分析の結果、限定することにした。感染が広がっている地域に、効果的に対策を打ち、県全体の感染を減らしたい。旧唐津市は、人と人の気持ちがつながり合ったまとまりのある地域だからこそ、この危機を克服できると信じている。

佐賀県も共に立ち向かう。明日から、県庁の屋上に佐賀県旗とともに唐津市の旗も掲げる。

県民の皆さまへ

一人ひとりの行動が、この危機を救うことになる。緊急時の救急医療は、何としても守りたい。各自が感染症対策を行い、毎日検温し、少しでも症状があれば休む。県も医療資源の確保に全力で取り組む。一人ひとりの力で、オール佐賀で、この危機に立ち向かっていきましょう。

政策部長／まん延防止等重点措置に係る県の対応を説明する。

対象区域:旧唐津市

期 間:8月27日(金)から9月12日(日)まで

飲食店での酒類の提供の自粛要請

対象:飲食店、喫茶店、遊興施設、結婚式場のうち、食品衛生法上の飲食店営業許可を受けている店。

内容：終日、酒類の提供自粛

スナック、カラオケ喫茶など、飲食を主な生業としている店舗のカラオケ利用の自粛。

大規模集客施設の営業時間の短縮等要請

対象：1000㎡を超える大規模集客施設で、20時以降も営業している施設。

内容：20時までの営業時間の短縮

入場者が密集しない対応をお願いする。

旧唐津市で対象となる施設：大規模小売店、ショッピングセンター、家電量販店、パチンコ店、ボウリング場

時短の対象は、生活に欠くことができない物品を販売する施設や公衆衛生の観点から生活サービスを提供する施設は対象外。スーパー、コンビニ、理美容店など。

旧唐津市民の皆さまへ

- ・日中も含めた不要不急の外出、移動の自粛。
- ・どうしても外出する場合、極力家族や普段行動を共にしている仲間と少人数で。
- ・職場での感染感染拡大防止のため、テレワークや休暇の取得推進、厳格な感染防止策の徹底にご協力いただきたい。

旧唐津市内の飲食店・大規模集客施設への時短要請協力金

飲食店：売上高に応じ、1店舗あたり3万円～10万円を17日間分交付する。

先渡しも可能になった。これまで協力金を受け取ったことがある店舗は、ご相談を。

大規模集客施設：店舗面積、営業時間の短縮に応じて協力金を交付する。詳しくはホームページで確認を。

まん延防止等重点措置の適用を踏まえ、GOTO イート「さがおいしーと食事券」の使用期限を10月末までとする。

教育長／学校での感染対策の強化について説明する。

まん延防止等重点措置の適用を受けたことと、来週から2学期が始まることを控え、学校での感染症対策を強化した。

① 時差登校の実施

通学時に電車内の密を避けるため、県立高校の時差登校を実施する。

② 部活動の停止について

夏休み期間中に、部活動のクラスターが2つ発生した。まん延防止等重点措置期間中の活動を自粛する。

③ 体育祭・文化祭について

体育祭での応援合戦、文化祭での合唱のように集団で声を出す行為や身体接触を伴うような活動を自粛する。また、体育祭・文化祭の実施の判断は、各学校で判断する。

④ 基本的な感染予防策の徹底

これは、5波でも有効だと専門家から聞いている。徹底したい。

⑤ 学校における陽性者確認後の対応

陽性者が確認された場合、当該児童・生徒の所属する学級や部活動を直ちに一旦閉鎖する。接触状況に応じ、出席停止や学級等を閉鎖する。

県立学校が学級等を閉鎖した場合、オンライン授業に移行し、学びを止めない環境を提供する。

⑥ ワクチン接種促進

教職員は、積極的に受けてほしい。県民ホールの集団接種でも受けられる。また、高校3年生は、同会場で接種の対象になっている。

坂本副知事／災害現場に行ってきた。災害からの復興の取組とコロナ対応に、全部局一丸となって取り組みたい。

知事／これまでの中で、一番厳しい状況になっている。医療資源を確保することに最大限の努力をしていく。最悪を予想し対策を取ることが必要だと判断し、今回の措置になった。

不便をおかけするが、この踏ん張り如何で事態が打開できるかどうかだと考えている。この厳しい期間の苦労を分かち合って、難局を乗り越えたい。県民の皆さんの力が必要です。よろしくをお願いします。